

ライブラ・プロジェクト
ウズベキスタン

ジャーナリストが
「自由」のために
ひどく拷問された

AMNESTY INTERNATIONAL
WRITE FOR RIGHTS

例文「私たちはあなたのことを思っています」

“Biz doim siz hakingizda uilaimiz”

“Биз доим сиз хақингизда ўйлаймиз”

「頑張って！」 Держитесь!

WRITE A LETTER
CHANGE A LIFE



「私は数日間血の海の中で、水もなく食べる物もなく、横たわっていました。自分の人生の中の楽しかったことを思い起こしていました。子どもたちのこと、妻のこと。そして自分が死んでいくのだと覚悟しました。」

1999年、ウズベキスタン治安機関は、発禁処分を受けた反政府系新聞社の編集者であるジャーナリスト、ムハンマド・ベクジャノフさんを拷問にかけた。ムハンマドさんが反国家的犯罪を犯したことを自白するまで、ゴム製の警棒で殴打し、窒息させ、電気ショックを与えた。

ウズベキスタンは、拷問と強要して得た証言の採用を禁止している国連拷問等禁止条約に署名しているが、裁判はその拷問による「自白」を証拠に採用した。裁判において、裁判官はムハンマドさんの拷問を受けたという申し立てを却下し、実刑15年を宣告した。

ムハンマドさんは現在、世界で最も長く投獄されているジャーナリストのうちの1人である。2014年に釈放されるはずだったが、現在もまだ収監されている。刑務所内の規則を破ったとして5年の刑を受けたためである。昨年、刑務所で面会した妻は、夫はもう限界にきていると感じた。「自分のことがもう分からなくなっていました。すべての希望を失った瞳をしていました。ただ呼吸をしようとしているだけでした。」

ウズベキスタン大統領にムハンマドさんの釈放と彼に対する拷問への十分な捜査を命じるよう要請してください。



ウズベキスタン大統領に手紙を書いてください



ムハンマドにあなたの連帯の気持ちを送ってください

ムハンマド・ベクジャノフさんは、世界で最も長く投獄されているジャーナリストである。カリモフ大統領に彼の即時釈放と彼の拷問の申し立てへの独立した捜査を命じるよう要請してください。

Dear President,
I am writing to express my deep concern about Muhammad Bekzhanov who was tortured by Uzbekistani security forces.
I urge you to ensure the prompt release of Muhammad Bekzhanov on the grounds that repeated calls for a fair retrial in his case have been ignored for more than 15 years.
I call to ensure a prompt, impartial and effective investigation into the allegations that Muhammad Bekzhanov was tortured in custody.

Sincerely you,

President Islam Karimov
Rezidentsia prezidenta
ul. Uzbekistanskaia 43
Tashkent 700163
Uzbekistan **Air Mail**

ムハンマドさんと彼の家族は、私たちの精神的支援を必要としています。娘アイグルさんは、「父は刑務所で受け取った手紙を大事な宝物のようにしている」と私たちに語っていました。あなたのメッセージやカードを送ってください。看守に分かるようにロシア語かウズベク語をお願いします。反イスラムや宗教的なもの、アムネスティの名前を避けてください。

裏面にも例文があります

「私たちの思いはあなたとともにあります」
“Сиз доим бизнинг ўйларимизда”

Siz doim bizning uylarimizda

Muhammad Bekzhanov
Otryad 12
KIN 6448
Navoi region
Uzbekistan **Air Mail**